

世界に誇る環境主都まつえ～脱炭素社会(カーボンニュートラル)の実現を～

令和7年3月

第38号

まつえ環境市民会議

「まつえ環境市民会議」は、市民・事業者・行政が協力して身近な環境活動を実践するため、平成19年2月に設立された市民組織です。

まつえ環境市民会議4つの活動テーマ

自然環境の保全

- ✓ 水質保全
- ✓ 里山保全
- ✓ 自然とのふれあい
- ✓ 生物多様性の確保

ごみの減量

- ✓ 清掃活動
- ✓ ごみの減量・分別
- ✓ 食品ロス削減
- ✓ 脱プラスチック

地球温暖化防止

- ✓ 二酸化炭素の排出抑制・吸収促進
- ✓ 省エネ・再生可能エネルギーの推進

環境教育の推進

- ✓ 環境情報の提供
- ✓ 歴史・文化的な資源を活用したイベント・学習会の開催

ご存じですか？

まつえ環境市民会議
(マツエコちゃん)のラッピングバス

松江市交通局では、平成29年3月に天然ガス車の後継車両として、環境配慮型のハイブリッドバス2台を導入し、市内循環線などを走行、定員75人の大型（市バス46台中6台のみ）のため朝夕のラッシュ時に活躍しています。ハイブリッド車は電気とディーゼルの2つの動力で動き、価格は高めですが燃費が良く環境にやさしい車です。ラッピングには初期経費として150万円（年間広告費含む）程度かかりますが、宣伝効果が高くとても人気で、空きがほとんど無い状況だそうです。この2台のバスは、ハイブリッド車導入記念に交通局でラッピングされたもので、まつえ環境市民会議のロゴマークや松江市環境基本計画の基本理念を入れ、環境貢献に対する姿勢を示したのになっています。この度ロゴマークの愛称が「マツエコちゃん」に決まりましたので、ラッピングに愛称を加える計画を進めています。全国的には水素（燃料電池）バスや電気（EV）バスも走り始めていますので、松江市においても近い将来にハイブリッドから更に進化していくことでしょう。



会員募集中



環境問題について、一緒に考え活動してみませんか

会員拡大にご協力ください

申し込みは

〈事務局〉TEL.25-0881まで

申込書はまつえ環境市民会議ホームページからダウンロードできます。



年会費

個人会員1,000円/1口
 団体会員2,000円/1口
 法人会員3,000円/1口

振込先

山陰合同銀行松江市役所出張所
 (普通) 3608893
 まつえ環境市民会議

「まつえ環境市民会議」は、みなさんの年会費で運営されます。

まつえ環境市民会議の活動に参加して
ポイントシールを集めよう!!

- 活動参加カードは、今後活動参加される際にお渡しします。
- 活動参加1回につきポイントシール1枚を配布しますので、カードに貼ってください。
- カードはシール5枚まで貼れ、カード1枚毎にマスコットキャラクターを使った賞品を差し上げます。



まつえ環境フェスティバル2024

11月10日（日）松江市役所だんだんテラスで「循環型社会へ 今ここから走り出そう」をテーマにまつえ環境フェスティバル2024を開催しました。当日は天候にも恵まれ、ファーマーズマーケットの同時開催、各種コンクール・功労者等の表彰式、環境関係の取り組み紹介・パネル展示、各種ワークショップ・セミナーなど、約900名の参加者で賑わいました。特にグリーンスローモビリティ（低炭素型地域内交通）への関心は高く、240名（来場者の1/4以上）が試乗体験されました。また、今回から環境教育の一環として、松江高専、松江北高、松江南高の生徒さんたちが、それぞれワークショップを出店されました。



多くの人で賑わう会場



高校生のワークショップを楽しむ子ども達



グリーンスローモビリティの試乗体験

クールチョイスからデコ活へ

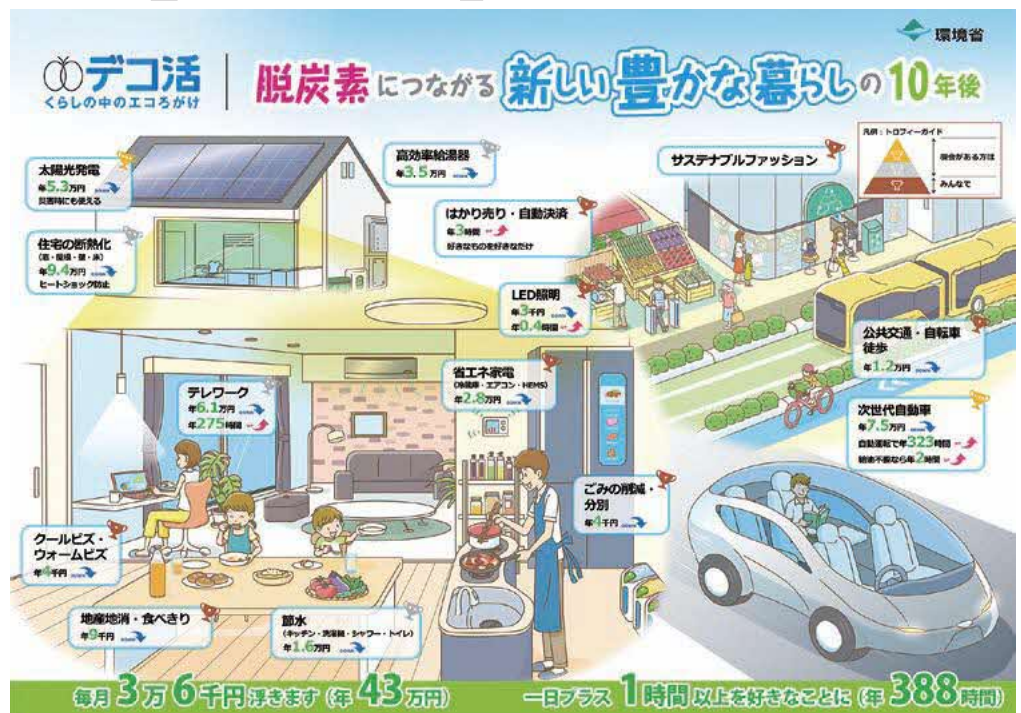
（新国民運動の愛称／環境省）



2015年から取り組んできた**COOL CHOICE**（地球温暖化防止のために地球にやさしい「賢い選択」をしようという国民運動）が、**デコ活**（新国民運動）に移行しました。松江市では令和6年7月17日にデコ活宣言し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、脱炭素型のライフスタイルやビジネススタイルが定着したまちを目指しています。

市民・事業者・行政が協力して、再生可能エネルギーの導入と活用を進めるとともに、脱炭素型ライフスタイルを取り入れることで、温室効果ガスの排出量の削減に取り組めます。

※**デコ活**：脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を含む「デコ」と活動を組み合わせた新しい言葉



まつえ環境市民会議 法人・団体会員の 環境貢献活動のご紹介

Report 02

「水草×オゴノリで^{ダブル}Wリング大作戦」 認定NPO法人自然再生センター様

天神川で発生する水草や中海で発生するオゴノリは、増えすぎることによって水質の悪化や、生態系を乱していきます。そこで、それらを土壌改良材として畑で活用し、サツマイモや大豆を収穫しています。活動に際しては、大根島や豎町地域の地元の方々や松徳学院中学校の生徒さんと協働した刈取作業から始まり、松徳学院高等学校の生徒さんなどが中心となって、畑での植付けから収穫までを行っています。収穫された作物は、主にパン屋さんやケーキ屋さんで加工されて商品となり市民の元に届けられます。また収穫した大豆で、味噌づくりのイベントも行っています。生徒さんたちのアンケート調査から、環境に対するSDGs視点の意識が変わったことが伺える結果となり、また、作物を使用した商品を作って頂ける店舗からのお申し出が毎年増えてきています。



Report 03

「環境劇上演などの啓発活動」 くにびきエコクラブ様

- 環境創作劇の上演とエコ講座の開設
市民への啓発には、演劇が効果的と考え、環境改善に焦点を絞って、小学校や公民館などで上演（過去14年の上演回数は62回、観客は平均180人）
- 「もったいない運動」の実施（これまで13回実施）
東日本大震災を契機に、人々の間に大量生産・大量消費社会に対する反省と、循環型社会への移行議論が高まったが、徐々に震災の記憶は薄れ、そうした機運も勢いを失ってきている。当クラブでは毎年震災発生日の時期に「もったいない運動」を行うことで、被災地の復興と脱炭素社会へ向けた輪が大きく広がることを願っている。
- その他に海岸の漂着ごみ回収作業、松江市やまつえ環境市民会議主催行事への参加協力
- ➔ 創作劇を見た児童、教師から「大人になったらエコリーダーになりたい。」「校内での節水、給食廃棄が少なくなった。」などの感想が寄せられている。環境を守る世界共通語である「MOTTAINAI」への理解と実行の輪が広がることを願っている。



最近の活動から

令和6年7月～12月

令和6年7月20日(土)

環境について楽しく学ぶ親子体験教室
(省エネ学習と工作教室)



令和6年8月17日(土)

海ごみゼロ大作戦と環境学習会
(古浦海岸)



令和6年9月23日(月・祝)

松江総合運動公園竹林整備
(奥山池・遊歩道周辺)



令和6年10月5日(土)

海岸漂着ごみ回収(古浦海岸)
～地元団体「はまひるがお」と共催



令和6年10月26日(土)

松江城探検ウォークラリー
(国宝松江城から学ぶ環境学習会①)



令和6年11月3日(日)

出雲郷うぐいす山広場の整備
(地元幼保園の園児たちの遊び場で活用)



令和6年11月10日(日)(まつえ環境フェスティバル)

「グリーンカーテン」フォトコンテスト表彰式
最優秀賞1、優秀賞3、入選4の計8作品を表彰



令和6年11月10日(日)(まつえ環境フェスティバル)

「省エネチャレンジシート」優秀校表彰式
優秀校10校を代表して島根小、玉湯学園(前期)を表彰



令和6年11月23日(土)

電動堀川遊覧船エコツアー
(国宝松江城から学ぶ環境学習会②)



令和6年12月21日(土)

食ロス削減・デコ活の街頭啓発活動
(イオン松江店)



編集
後記

この冬はインフルエンザが猛威を振りましたが、皆様のご協力により予定した今年度の活動は全て終わることができ、会報もコロナ禍前のように年2回発行する運びとなりました。また、マスコットキャラクターも「マツエコちゃん」に決まり、ポイントカードの賞品として活用、既に10名程の方に差し上げております。

積極的な活動参加によりポイントを集めてもらうようお願いします。

